

タイトル	82歳のグランドピアノ
名称（学校・地域）	塩尻市立洗馬小学校
日時・場所等	
HPアドレス	http://www.shiojiri-ngn.ed.jp/seba-e/

本校児童昇降口を入った右、2階へ向かう階段の下に「80歳のグランドピアノ」が置かれていました。菊の紋章が入り、各所に彫刻が刻まれ、象牙の鍵盤のピアノは、昭和9年芦ノ田の熊谷まさ江様より本校の子どもたちのために寄贈されました。半世紀以上、洗馬に育った多くの皆様がお世話になり大切にしてきました。

しかし、ピアノは、年々痛みを増し長年使用されない状態で静かに時を過ごしてきました。再び美しい音色を奏でるためには、傷んだ脚を補強し、つぶれて弾力の無くなったフォルトや中の傷んだ細かい部品を全て作り直し錆びた弦を新しく張り替える修理が必要です。



【ポスター】

これを聞いた洗馬地区の有志の皆様が平成27年12月ピアノの修復に向けて委員会を立ち上げ、寄付金を募ろうと動き出してくださいました。委員会は寄付を呼びかけるポスターを作成し洗馬地区等の商店や公民館に掲示。同じ内容のチラシ2300枚も作り地区に全戸配布してくださいました。

平成28年5月下旬、委員会からピアノ基金が目標額に達しピアノが修復できるという吉報が子どもたちに届きました。待ちに待ったこの日がやってきたのです。

6月7日（火）朝、全校児童がグランドピアノを囲み「グランドピアノお見送りの会」を行いました。「半年後に元気になって戻ってきてください」と児童会長があいさつをした後、全校で心を込めて校歌を合唱。午後、ピアノは解体され、トラックに大切に積み修復に向けて旅立ちました。

11月5日（土）、82歳のグランドピアノが修復され本校に戻り、「寄贈ピアノお披露目会」が開催されました。2回に分けて行われた会には地域の皆様方約500名近くが参加され、塩尻市長様、塩尻市教育長様はじめ多くのご来賓の皆様のご光彩をいただきました。会では、地域のピアニスト「セバスチャン」様の演奏、児童発表等が行われ、最後に、82歳のグランドピアノの生まれ変わったまろやかで美しい音色と会場全員での「故郷」の歌声が体育館中に響き渡りました。

今、グランドピアノは、地域のコミュニティースクールの部屋を兼用した洗馬っ子ルームに、洗馬の宝として置かれています。そして、毎年、児童によるミニコンサートや希望児童、「セバスチャン」様の演奏によるピアノコンサートを開催しています。



【寄贈ピアノお披露目会】



【ピアノコンサート】